

胃癌・食道胃接合部癌に対する腹腔鏡下胃切除術における ICG 蛍光観察法によるセンチネルリンパ節生検の feasible study (付随研究)  
(切除標本の病理学情報の後方視的検討及び切除患者の予後に関する調査)

1. 研究の対象

2016 年 8 月～2019 年 3 月に当院で胃癌・食道胃接合部癌に対する腹腔鏡下胃切除術における ICG 蛍光観察法によるセンチネルリンパ節生検の feasible study の研究に参加された方

2. 研究目的・方法

本研究は、胃癌・食道胃接合部癌に対する腹腔鏡下胃切除術における ICG 蛍光観察法によるセンチネルリンパ節生検の feasible study に参加頂いた患者さん 517 人の長期予後、転移・再発形式などの情報を検証することで、術中に得られるセンチネルリンパ節の情報をもたらす臨床的価値についての評価を行うことを目的とします。

研究期間は当院での倫理審査承認後～2026 年 3 月 31 までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究には診療録(カルテ)情報を使用します。特に、今回の検査を受けて頂いた患者さんの長期的な予後情報(再発の有無、生存情報、再発があった場合には、再発の部位やその後の治療内容等)を確認します。また、手術時に切除した検体の病理検査の結果の中から、切除断端の情報(断端距離)などを追加で確認する予定です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

大阪国際がんセンター 消化器外科 原 尚志

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

様式第 1-4 (2018. 4. 1 版)

研究責任者:

大阪国際がんセンター 消化器外科 大森 健

-----以上